お知らせ

記者発表資料	令和７年　３月２８日

■同時発表先：
合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

いつでも誰でも学習できるｅラーニング開設！

～ICT 施工､BIM/CIM 活用に関する基礎知識を学習～

＜概要＞

中国地方整備局では、インフラＤＸの人材育成教材として､BIM/CIM活用やICT施工の基礎的な知識、技術を簡単に学べるｅラーニングサイトをホームページ上に開設しました。

時間と場所を選ばず､繰り返し学習が可能で、発注者と受注者それぞれの視点で、特に未経験者に向けた学習コンテンツを提供しています。

このｅラーニングは、ナレーション付き説明動画となっており、BIM/CIM活用とICT施工のそれぞれの項目毎に受講内容を選択することができます。
また、テキストをダウンロードして、テキストを見ながら受講することも可能です。項目毎に到達度テストも用意していますので、学習の理解度を確認することができます。

このｅラーニングにより、ICT施工やBIM/CIM活用の普及拡大に向けて、建設業界全体のデジタルリテラシー向上を図っていきます。

○ＥラーニングサイトのＵＲＬ

BIM/CIM ８項目､ICT施工 ８項目の学習コンテンツを提供し､ナレーション付き動画の視聴により学習可能です｡ＰＤＦによるテキストも配布しています。
https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/infradx/e-learning/index.html

＜問い合わせ先＞
国土交通省中国地方整備局　企画部　技術管理課
TEL（082）221-9231（代表）（平日昼間）
【担当】
企画部 工事品質調整官　藤原（ふじわら）　功（いさお）　（内線３１３０）
企画部 技術管理課 建設専門官　新田（しんた）　紀明（のりあき）　（内線３３１８）

ICT施工、BIM/CIM活用に関しての学習コンテンツ配信開始

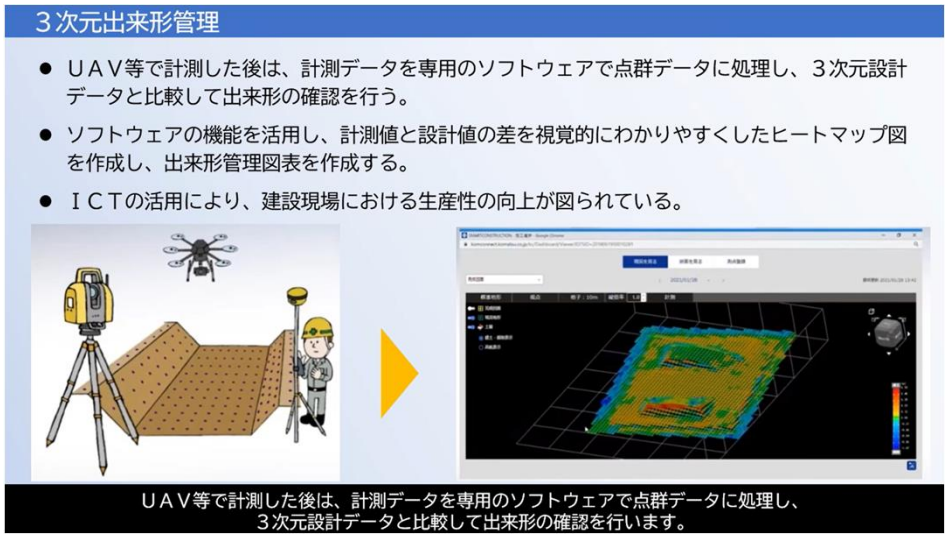
国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局

○ 中国地方整備局では、インフラＤＸの人材育成教材として、ICT施工やBIM/CIM活用の基礎的な知識、技術を簡単に学べるｅラーニングサイトをホームページ上に開設しました。
○ 時間と場所を選ばず、繰り返し学習が可能で、発注者と受注者それぞれに向けたコンテンツを提供しています。

ｅラーニングの概要

- 対 象 者：整備局職員、自治体職員、建設関連事業者など
  （整備局ＨＰにて誰でも受講可能）
- 学習内容：BIM/CIM活用　８項目
  ICT施工　　８項目（詳細は次頁参照）
- 学習方法：ナレーション付き説明動画を視聴
  学習用テキストのダウンロード可能
  到達度テストで理解度の確認が可能

ｅラーニング視聴画面



出来形管理基礎研修
到達度テスト

問題文の内容が正しいと思う場合は「○」、正しくないと思う場合は「×」を記入してください。

NO.	問題文	回答欄（○×）
1	施工後の構造物を３次元計測し、３次元設計データと比較して施工精度の確認を行う３次元出来形管理では、ＩＣＴを活用することで、これまで時間をかけて行っていた計測の作業などが効率化されている。また、専用ソフトを利用することで、計測値と設計値との差を視覚的に分かりやすくした出来形管理図表（ヒートマップ図）が半自動で作成できるなど、帳票作成作業も効率化している。	
2	出来形管理では、起工測量と同様の機械を用いる場合は、測定精度や計測密度が起工測量と同じであるため、書類作成時間の縮減が可能となる。	

出来形管理基礎研修
到達度テスト　解答・解説

NO.	解答	解説
1	○ （問題文記載通り）	３次元計測データと３次元設計データの比較により、簡単に出来形管理図表の作成ができ、出来形管理作業の効率化が進んでいます。
2	× （起工測量と測定精度や計測密度は異なる）	出来形管理と起工測量では、同一の計測技術を用いる場合においても、測定精度や計測密度は異なります。このため、使用する計測技術の出来形管理要領を確認し、所定の精度を確保することが重要です。

ICT施工、BIM/CIM活用に関しての学習コンテンツ配信開始

BIM/CIM活用 eラーニング学習項目

人材育成項目	対象者		目的
	発注者	受注者	
BIM/CIM活用業務・工事基礎研修	○	○	BIM/CIMの目的・概要及び発注手続き（事務書類作成）を含めたの一連の実施手順などの基礎知識を理解する。
DXデータセンター活用研修	○	○	DXデータセンターの概要、利用方法を理解する。
監督・検査研修	○		BIM/CIM活用業務における監督・検査に関する基礎知識を理解する。
BIM/CIM共通フォーマット研修	○	○	異なるソフトウェア間でデータの引き継ぎを行うための、3次元モデルの共通フォーマットについて理解する。
XR技術活用研修Ⅰ	○		XR技術の種類・概要とその活用方法を理解する。
地形モデル基礎研修	○	○	BIM/CIMの活用目的に応じた地形モデルの精度や、作成に必要な測量成果を理解する。
地質・土質モデル基礎研修	○	○	BIM/CIMの活用目的に応じた地質・土質モデルの精度や、作成に必要な地質調査成果を理解する。
設計・統合モデル基礎研修	○	○	BIM/CIMの活用目的に応じた土工形状モデル及び構造物モデルの精度や、統合モデルの活用方法を理解する。

ICT施工 eラーニング学習項目

人材育成項目	対象者		目的
	発注者	受注者	
ICT活用工事基礎研修Ⅰ	○	○	ICT活用工事の目的・概要及び発注手続き（事務書類作成）を含めた一連の実施手順などの基礎知識を理解する。
起工測量基礎研修	○	○	3次元計測機器を用いた起工測量の実施手順について理解する。
3次元計測基礎研修	○	○	3次元計測機器の種類や選択基準及び関連する法令等について理解する。
3次元設計データ基礎研修	○	○	ICT活用工事で使用する3次元設計データの概要及び作成に必要な図面等を理解する。
ICT施工基礎研修	○	○	ICT建機の種類や特徴等について理解する。
測位技術基礎研修	○	○	ICT建機の制御に必要な測位技術の種類や選択基準等について理解する。
出来形管理基礎研修	○	○	3次元計測機器を用いた出来形管理の実施手順について理解する。
ICT施工監督研修	○		ICT施工における監督職員の実施項目と留意事項を理解する。

Eラーニング画面説明

https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/infradx/e-learning/index.html

ICT施工、BIM/CIM活用に関しての学習コンテンツ

ICT施工･BIM/CIM活用を推進するための人材育成として、学習コンテンツを提供しています。
基礎的な「知識」「技術」を誰にでも簡単に習得できることを目指しています。
ｅラーニングで時間と場所を選ばず、繰り返し学習が可能ですので、ご活用ください。

▶ 項目をクリックすると、学習できる内容が展開します。

学習したい項目を選んでクリックすると学習項目が表示。

▼BIM/CIM活用

▼1．BIM/CIM活用業務・工事基礎研修【発注者用】 分割した項目を選ぶと短時間での受講も可能。

研修テキスト
到達度テスト

研修テキストを確認しながら受講可能。
受講後は、各項目で到達度テストによる理解度の確認ができる。

▶2．BIM/CIM活用業務・工事基礎研修【受注者用】
▶3．ＤＸデータセンター活用研修【発注者用】
▶4．ＤＸデータセンター活用研修【受注者用】
▶5．監督・検査研修【発注者用】
▶6．BIM/CIM共通フォーマット研修
▶7．ＸＲ技術活用研修Ⅰ
▶8．地形モデル基礎研修
▶9．地質・土質モデル基礎研修
▶10．設計・統合モデル基礎研修

▶ICT施工

企画部メニュー

- 中国地方の目指すべき将来の姿
- 安全安心なまちを作る取り組み
- 自然・文化・伝統を守る取り組み
- 地域の皆さま参加型プロジェクト
- 建設事業者の皆さまへ
- 自治体の皆さまへ